

フードドライブ拡大事業

まだ食べることができるのに廃棄されてしまうことで発生する食品ロス。富山県の家庭で発生する食品ロスは、「食べ残し」よりも、未開封のまま捨てられる「手付かず食品」の方が多く、課題となっていることから、県では、家庭で余っている未利用の食品を集め、必要としている福祉団体などに無償で提供する「フードドライブ」の普及を図っています。令和3年度は、リレーキャンペーンとして様々な主体にフードドライブの実施を呼びかけPRしたほか、スーパーでの効率的な運営（無人化）に関する実証実験を実施しました。

【とやまりレーフードドライブ・キャンペーン】



実施件数：35件（28団体により、13市町村で開催）

※ 12月1日時点。以降も実施予定あり

※ 過去の実施件数（R1）4件、（R2）10件

・各地で実施されたフードドライブの様子をPR動画としてまとめ、環境フェア inWeb にて公開中



7/2～4 アルビス高原町店

7/19～8/20 富山県消費者協会

【無人化実証実験】



実施期間：11月10日（水）～30日（火）

設置場所：アルビス美幸町店 サービスカウンター横

・最初の週末（12～14日）に、高岡市・エコライフを楽しむ市民の会高岡の協力により、店頭での啓発活動を実施



今後は、引き続きリレーキャンペーンを展開し普及を図るとともに、実証実験の結果をまとめ、今後の展開（さらなる普及や常設化）に向けた基礎資料とすることとしています。

（事務担当：環境政策課 廃棄物対策班）